科目名	老年看護学実習Ⅱ Gerontological Nursing Practice Ⅱ	担当教員 (研究室番号)	六角 僚子 (405) 小松 美砂 (301)	教員への連絡方法 (メールアドレス)	六角：ryoko.rokkaku@mcn.ac.jp 小松：misa.komatsu@mcn.ac.jp

履修年次	2年次 前期	科目区分	専門科目	選択区分	コース必修	単位数(時間)	4(120)	授業形態	実習	科目等履修生	否
										遠隔授業	否

科目目的	認知症看護に関する既習の知識や技術を統合し、認知症高齢者の生活機能や、病態像をふまえた治療・薬物療法等、ケアとキュアの両側面から包括的にアセスメントした上で、老人看護専門看護師に求められる役割機能について、実践を通して学ぶことを目的とする。 なお本科目は、日本看護系大学協議会が定める高度実践看護師教育課程基準（実習科目）「認知症老年看護に関する実習」に相当する科目である。	
ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ・ﾎﾟﾘｼｰ(DP)	主要なDP	７．看護学の特定分野における卓越した看護実践能力を修得している。
	関連するDP	２．豊かな人間性と倫理観を身につけ、看護専門職としてリーダー的役割が担える指導力やマネジメント力を身につけている。
到達目標	1) 高齢者施設や地域で生活する認知症高齢者と家族を担当し、認知症高齢者の生活機能や、病態像をふまえた治療・薬物療法等について包括的にアセスメントした上で、根拠に基づく高度な看護援助を実践することができる。 2) 認知症高齢者や家族への援助において、老人看護専門看護師の機能と役割を実践することができる。 3) 認知症高齢者に関連する課題やニーズに対して、老人専門看護師の機能・役割を総合的に用いた介入を行うことができる。 4) 認知症高齢者や家族を支援すると同時に、看護師個人、看護チーム、多職種チーム、組織全体に対しても老人看護専門看護師の機能と役割を実践することができる。	

成績評価方法(基準)	・行動目標に沿って、専門看護師としての基礎的な実践能力の修得を『老年看護学実習Ⅱ評価表』を用いて評価する。 ・事前学習、実習内容、カンファレンスでのディスカッション、実習出席状況、実習記録、実習後の課題レポート、自己評価、実習成果報告会、実習施設の指導者からのコメントを含めて総合的に評価する。
教科書	随時紹介する。
参考書等	随時紹介する。
受講者へのメッセージ	認知症高齢者や家族の意思を尊重し、認知症看護に関する実践力と、多職種チームにおいて老人看護専門看護師の役割を果たすことができる実践力を身に付けてください。
備考	

学　習　内　容

※実習内容の詳細は「老年看護学実習Ⅱ 実習要項」を参照のこと

１）実習期間
「認知症老年看護に関する実習」として、4単位（120時間）を基本とした実習を行う。

２）実習施設
・社会福祉法人恩賜財団済生会支部三重県済生会 明和苑 （住所：三重県多気郡明和町大字上野435、電話：0596-52-0386）
・ヤナセメディケアグループ 複合型介護施設群 しおりの里 （住所：三重県津市野田2033-1、電話：059-239-1313）
・訪問看護ステーションほたるいせ（住所:三重県伊勢市小俣町湯田794-10, 電話:0596-21-3312）
・独立行政法人地域医療機能推進機構 四日市羽津医療ｾﾝﾀｰ附属 訪問看護ステーション
（住所：三重県四日市市羽津山町10-8, 電話：059-331-6044）

３）事前学習
・これまでの講義と演習で修得した内容を統合し、事前レポート、実習計画書、実習記録類一式を作成する。
・実習計画書の作成にあたっては、実習施設との調整を主体的に行う。
・実習記録類の作成にあたっては、指導教員および実習指導者のスーパービジョンを受ける。

４）実習内容
老人看護専門看護師が所属する施設において、老人看護専門看護師の指導の下に、看護援助を実施する。
・日常生活もしくは療養上の課題を有する認知症高齢者と家族を担当し、病態像をふまえた治療・薬物療法等を含め包括的にアセスメントし、根拠に基づく高度な看護援助を実践する。
・認知症高齢者や家族への援助において、老人看護専門看護師の機能と役割を実践する。
・認知症高齢者に関連する課題やニーズに対して、老人専門看護師の機能・役割を総合的に用いた介入を行う。
・認知症高齢者や家族を支援すると同時に、看護師個人、看護チーム、多職種チーム、組織全体に対しても老人看護専門看護師の機能と役割を実践する。

５）実習の進行
・実習要項参照